

第27回
企画展

京の河川絵図

水とくらし

初
高瀬川図屏風
公開!!



講演会①

6/10[土]

絵図が語る近世宇治川の水害と
巨椋池の変遷

講師：植村 善博 氏(佛教大学名誉教授)

講演会②

7/2[日]

江戸期の絵図で読み解く「川と暮らし」
～鴨川、桂川、宇治川を中心に～

講師：鈴木 康久 氏(京都産業大学現代社会学部教授)

※詳しくは裏面をご覧ください

前期

5/22[月]～6/13[火]

後期

6/15[木]～7/8[土]

※6月14日(水)は展示入れ替えのため休館します。

月・火・木～土

10:00～16:30

水

13:00～16:30 (入館受付は16:00まで)

※日曜、祝日、6月14日(水)は休館。

但し、6月4日(日)、7月2日(日)は開館[10:00～16:30(入館受付は16:00まで)]

京都産業大学ギャラリー

入場無料

[京都市下京区中堂寺命婦町1-10 京都産業大学壬生校地 むすびわざ館2階]

むすんで、うみだす。
京都産業大学

主催 京都産業大学ギャラリー

協力 賀茂別雷神社、京都産業大学図書館、(公財)京都市埋蔵文化財研究所、臨済宗保水山廣誠院

資料画像 ①「加茂川絵図」(京都産業大学図書館所蔵)

②「高瀬川図屏風」(廣誠院所蔵)

③「大川便覧」(京都産業大学図書館所蔵)



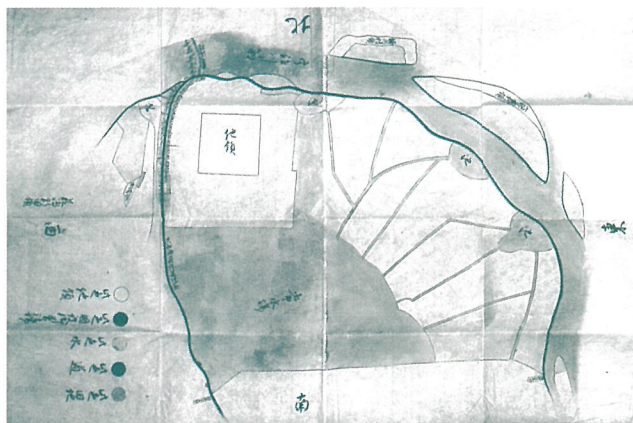
第27回
企画展

京の河川絵図

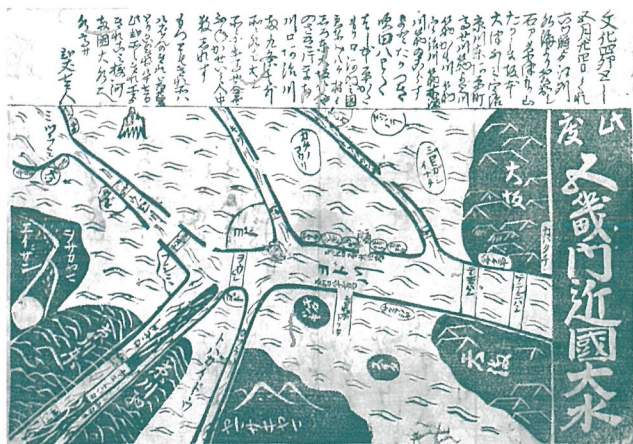
水とくらし

人は長い歴史の中で水を活用し、水を制し、地域の自然環境や社会生活を反映して個性的で豊かな水文化を築いてきました。近世の河川絵図は単に風景を描いたものではなく、その時代に人が水と関わる中で必要とした情報があらわされています。そこからは河川交通、生活用水、水害の発生と治水など川・水との関わりを通して、人々の暮らしがみえてきます。

本展覧会では京を流れる鴨川、高瀬川、桂川などの河川絵図を取り上げます。これらの河川は生活を支える一方、時に暴れて氾濫し、京の人々を悩ませてきました。そのような川と人の関わりが絵図に書き込まれた情報からは浮かび上がります。展覧会を通して京の水文化の一端を感じていただければ幸いです。



「伏見宇治川筋図」4枚のうち1枚(京都産業大学図書館所蔵)



「此度五畿内近国大水」(京都産業大学図書館所蔵)

講演会①

絵図が語る近世宇治川の水害と巨椋池の変遷

講師：植村 善博 氏 (佛教大学名誉教授)

日時：6月10日(土) 13:00開場 13:30開演 15:00終了(予定)

講演会②

江戸期の絵図で読み解く「川と暮らし」 ～鴨川、桂川、宇治川を中心に～

講師：鈴木 康久 氏 (京都産業大学現代社会学部教授)

日時：7月2日(日) 13:00開場 13:30開演 15:00終了(予定)

①、②とも

場 所 むすびわざ館ホール
定 員 150名(事前申込制・先着順)
申し込み先 <https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/>
申込み受付開始 5月22日(月) 11:00～

入 場 無 料

※京都産業大学ギャラリー公式ホームページのインターネット申込みフォームよりお申込みください。申込期間にかかわらず、定員に達した時点で受付を終了します。応募の際にご提供いただきました個人情報は、講演会以外の目的では使用いたしません。※講演はオンラインでも配信をいたします。詳細はホームページをご確認ください。

京都産業大学むすびわざ館事務室

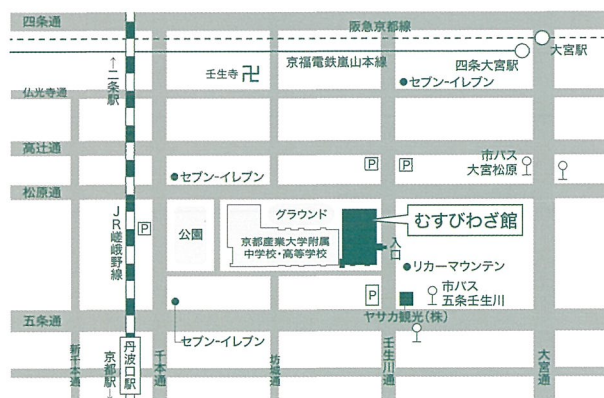
問合せ先

(平日 9:00～16:30)

TEL 075-277-0254 FAX 075-277-1699

WEBページ <http://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/index.html>

【交通案内】



◎丹波口(JR)…徒歩約7分

◎大宮(阪急)…徒歩約11分

◎四条大宮(京福)…徒歩約11分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

◎ 次回予告 ◎

所蔵品展およびミニ展示「有持有百のドローイングとシュルレアリスム」(仮)(2023年9月20日～10月7日)